



「努力の分だけ
花は咲く」

大関 美冴さん

(常総学院高校3年 今泉)

オリンピックでの日本人選手の活躍や、最新の科学技術を取り入れた水着の登場など、世間の注目を集めている水泳。大関さんは、今年5月に行われた県民総合体育大会の女子自由形100mと200mで見事1位に輝き、世界ユース選手権大会の代表選考会にも出場を果たした。水泳との出会いは、幼いときに体が弱かったことを心配した両親が、スイミングスクールに通わせてくれたのがきっかけ。水泳を始めると体も丈夫になり、泳ぎもどんどん上達していったが、中学2年生で初めて出場した全国大会は予選敗退に終わる。「負けたのが悔しくて、必ず来年も出場して結果を残すことを誓いました」。その悔しさをバネにさらなる練習を重ね、翌年は見事に全国大会の決勝にまで進んだ。

高校に進学してからも週6日間、ときには1日に1万mも泳ぐこともあるハード練習を、1日として休まずに行っている。はにかみながらも、「自分には才能がないので、ほかの選手よりも努力をしないと勝てないんです」と話してくれた。小学生の頃から指導をしている吉村コーチも「ここにかく練習の中、頑張り屋で、練習を休まないことが彼女の一番の才能」と話す。

現在の目標は、高校生活最後のインターハイでの優勝だ。その後は、大学でも水泳を続けオリンピックに出場する夢を持っている。大関さんの才能が大きく花開いて、目標と夢をつかんでほしい。

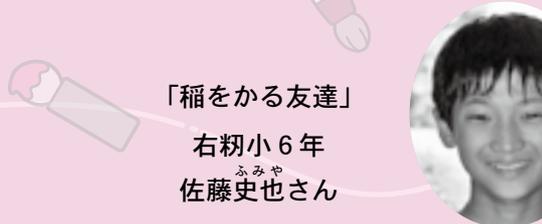
子ども 作品展



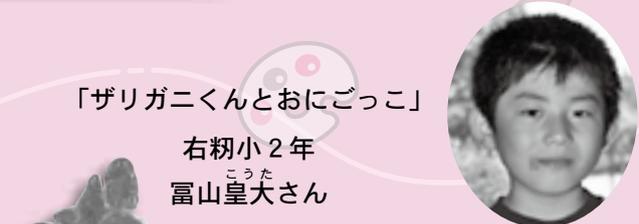
右朧小6年
栗城 佑衣さん



右朧小6年
今里 美咲さん



「稲をかる友達」
右朧小6年
佐藤 史也さん



「ザリガニくんとおにごっこ」
右朧小2年
富山 皇大さん

